

「もったいない
町民大会2012」

到来するうんざりの冬、乗り切れ！

もったいない条例制定から毎年行われている町民大会が、今年は11月17日(土)に行われ、約200人がパルナスに集まりました。

第1部 [発表] なかどまり冬暮らしの知恵



【小泊老人クラブ代表 坂田弘吉氏】



【中里老人クラブ代表 秋元正美氏】



【博物館 齋藤学芸員】

今年のテーマは「うんざりの冬、克服」。昨年の大雪で、雪かきにうんざりしていた人が多いと思いますが、その作業を冬場の健康づくりの機会ととらえ、振り付け考案者を講師に招いて、冬の過ごし方を学びました。前半の第1部では「なかどまり冬暮らしの知恵」と題し、経験豊かな高齢者から学ぼうと、老人クラブから2氏が発表。秋元正美さん(豊島老人クラブ)の発表では「笑い」の効能などを紹介し、会場を笑わせながら発表しました。一方、坂田弘吉さん(小泊若葉老人クラブ)は、自身の「越冬」風邪対策を発表。実体験に基づいたヨーグルトの効果や、辛抱しすぎず栄養面に気をつかうといった工夫を紹介しました。

発表の最後に、博物館の齋藤学芸員からは、資料を交えて町の冬暮らしの様子を紹介。今はあまり見かけない越冬グッズに、会場内からは懐かしむ声が聞かれました。

第2部 [実技] 健康雪かき体操 講師：小野郁子氏



【AOMORI花嵐桜組 演舞】



【小野郁子氏(左)】

第2部では、いよいよ「健康雪かき体操」の実技指導。よさこいソーランでその名を馳せた「AOMORI花嵐桜組」のリーダー小野郁子さん率いるメンバー5人が、壇上で体操を実演し、会場も一緒に汗を流しました。

さらに、あでやかな衣装にお色直したAOMORI花嵐桜組メンバー18人からは、スペシャルステージとしてよさこいを演舞。今年のテーマである「望郷紀行「津軽」」などのほか全4曲を披露し、会場を魅了しました。来場者は「体操をして若返った」「花嵐桜組の踊りがすごくうまかった」と話し、冬の過ごし方を、しっかりと、楽しく学びました。

海のダイヤ水揚げに活気づく

200キロ超のマグロ小泊漁港に



高い海水温などが影響してか、漁の走りは小ぶりなものしか水揚げされていなかったマグロ延縄漁。後半になって、徐々に魚体が大きくなり、水揚げも安定してきています。

10月27日(土)朝方には、小泊漁協所属の第18美栄丸の船長 長谷川敏雄さんが釣り上げた重さ212キロの特大マグロが水揚げされました。小泊のマグロ漁は、あ

一定の海域で回遊するマグロに注目して、数年前から漁を続けてきましたが、今回のマグロはその中でも一番の大きさだそうです(記事執筆時点)。マグロは重さが増すほど高値で取引されるそうので、釣り上げた船長、漁協職員とも大変喜んでいました。

このほかにも、100キロを超えるマグロが相次いで水揚げされており、前半の不漁を吹き飛ばす大漁ぶりに、ハマが活気づいています。

異色のアーティストたちが競演

パルナスで音楽フェス

パルナスで11月11日(日)、個性の強いアーティスト5人が集まって「音楽フェスティバル」が開かれ、内外から音楽好きの観客たちが集まり、ライブを堪能しました。

この音楽フェスは、町出身のシンガーソングライターでふるさとイメージアップ大使でもある三上寛さんがプロデュースしたもので、町に来たのは三上さんのほか、キム・ドゥスさん、鈴木常吉さん、鈴木秀和さん、チバ大三さんのあわせて5人。いずれもギターでの演奏ながら、パンクパフォーマンス、アコーディオンでの演奏、ハーモニカとあわせた繊細な歌など、それぞれの個性が観客を魅了しました。

最後には、三上寛さんがトリを務め、演奏が終わると観客から大きな歓声と拍手がわき起こっていました。



【鈴木常吉】



【鈴木秀和】



【キム・ドゥス】



【三上寛】



【チバ大三】